

2019年8月15日

 会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 村田 善郎
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 TEL. 03-3211-4111

2019年7月度 高島屋営業報告

〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

株 高 島 屋	0.0
---------	-----

株高島屋 および 国内百貨店子会社	0.0
----------------------	-----

〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	+4.5	+12.5	大 宮 店	△6.6	△5.8
堺 店	△12.6	+1.7	柏 店	△4.2	△2.0
京 都 店	+1.6	+1.8	株 高 島 屋 国内百貨店 13 店舗	△1.4	+2.0
泉 北 店	△13.8	△4.0	岡 山 高 島 屋	+5.5	+0.7
日 本 橋 店	+1.8	+25.7	岐 阜 高 島 屋	△4.1	△6.6
横 浜 店	△3.6	△0.7	米 子 高 島 屋	△5.1	△8.6
港 南 台 店	△5.4	△6.4	高 崎 高 島 屋	△1.6	△4.8
新 宿 店	△3.4	△5.9	株高島屋国内百貨店 および 国内百貨店子会社 17店舗	△1.3	+1.7
玉 川 店	△6.3	△7.4	法 人 事 業	+31.2	
立 川 店	△10.1	+12.1	クrossメディア事業	+8.1	

※株高島屋の売上高は、株高島屋国内百貨店13店舗、法人事業、クrossメディア事業を含みます。

京都店の売上高は「洛西店」、横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、
柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は昨年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比+4.5%となります。

〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社
衣料品	△3.9	△4.0
紳士服・洋品	△8.6	△8.5
婦人服・洋品	△3.2	△3.2
子供服・洋品	△4.6	△5.0
その他衣料品	+1.7	+0.5
身のまわり品	+0.4	+1.0
家庭用品	+6.8	+6.5
家 具	+24.4	+25.3
家 電	+293.9	+235.0
その他家庭用品	△6.9	△6.7

	株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社
食料品	△1.5	△1.3
生鮮食品	△4.5	△4.1
菓 子	+5.6	+5.7
惣 菜	+2.0	+2.0
そ の 他	△8.5	△7.9
食堂・喫茶	△17.0	△16.5
雑貨	+6.8	+6.1
化粧品	+6.4	+5.8
美術・宝飾品・貴金属	+8.3	+7.3
そ の 他	+3.9	+4.1

	株高島屋	株高島屋および 国内百貨店子会社
サービス	△1.1	△0.1
その他	+13.5	+12.8
合 計	0.0	0.0

○法人事業とクrossメディア事業を除いた百貨店は、ラグジュアリーブランドを中心とした高額品売上が引き続き伸ばしたものの、前年に比べ日曜日が1日少なかったことに加え、梅雨が長引き記録的な日照不足・低温となった影響などにより、前年実績を下回りました。なお免税売上は前年比△0.4%となりました。

8月度の店頭売上は、14日までの累計が前年比+3.3%、免税売上は同△5.2%で推移しています。

○日本橋店・立川店・堺店は、前年同月比で売場面積が縮小しております。

○日本橋高島屋S.C.の開業（昨年9月25日）効果もあり、日本橋店は入店客数が大きく伸ばいたしました。

○法人事業は、大口受注の影響により大きく売上を伸ばしました。